

環境バイオテクノロジー学会 2018年度大会

平成30年6月25日(月), 26日(火)
筑波大学 大学会館

シンポジウム「環境バイオテクノロジーに資する新たな技術」
共催：化学工学会 バイオ部会 環境生物分野専門分科会

浦山俊一 (筑波大学)

「病気を起こさず宿主と共に存するウイルス」

Andrew Utada (筑波大学)

「Microenvironment modeling and cell tracking
using microfluidics to study biofilm formation」

黒田章夫 (広島大学)

「スマートバイオセンシング」

鈴木市郎 (横浜国立大学)

「複合微生物系の利用と理解」

福田淳二 (横浜国立大学)

「細胞培養技術の新展開」

堀 克敏 (名古屋大学)

「接着性バクテリオナノファイバーによる微生物プロセスの革新」

特別協賛セミナー

「3D 電顕と Correlation Microscopy の現在」

カールツァイス マイクロスコピー株式会社

締切り

発表申し込み 5月21日 (月)

参加登録 6月11日 (月)

詳細は学会HPをご覧下さい

参加費： 正会員5,000円, 学生会員1,000円
非会員10,000円, (学生非会員は2,000円)

懇親会費： 一般 5,000円
学生3,000円

大会実行委員長 野村暢彦 (筑波大学)